



笑顔いっぱい いのちかがやけ 花園の子



小樽市立花園小学校

学校だより No. 7

令和7年9月26日↓本校

☎ 25-5233
Fax 25-5234



秋本番～読み聞かせのすすめ～

校長 五十嵐 幸

澄み渡る空気が心地よく感じられる季節となりました。9月6日（土）に実施しました地域参観日には、たくさんの保護者・地域の皆様にご参観いただきありがとうございました。また、その後の秋まつりには、保護者の皆様のご協力をいただき、子どもも大人もとても楽しいまつりを味わうことができました。誠にありがとうございました。

さて、いよいよ秋本番。秋といえば「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」「芸術の秋」…と連想するものは人それぞれです。何をするにも気候がよく天気にも恵まれています。そこで、秋の夜長に各家庭での読書（音読も）や本の読み聞かせをおすすめします。

中でも、本の読み聞かせは、子どもの通常の読書と同様、語彙力が増えるなど有意義であるといわれます。成長するにつれ、幼児期の無邪気さは徐々になくなってしまいますが、だからこそ、子どもの気持ちに触れることのできる読み聞かせは、保護者にとっても大切な時間になるそうです。それは、高学年にもあてはまります。勉強や友人関係が難しくなったり、習い事等で忙しくなったりしたとき、読み聞かせは、ちょっと



ホッとした時間になるのだそうです。では、どんな本を選んだらよいのでしょうか。それは、「知的好奇心に應える本」「心情に訴える本」に分けて考えると、探したり選んだりしやすいといえます。日頃から、子どもがどんなことに興味や関心を抱いているのか意識すると、子どもに合った本を選びやすくなります。また、例えば、星座の本を読み聞かせ、子どもが興味を持ったなら、一緒に総合博物館に行ってプラネタリウムを観て、気づいたことがあれば、さらに本や図鑑などで調べようと促すと効果的であるといえます。

10月27日から10月31日は、読書週間です。本校では11月は読書月間となっています。読書月間には、図書委員会が本の紹介や絵本の読み聞かせ、紙芝居、エプロンシアター等、みんなが本に慣れ親しむ取組を行います。

何をするにも心地よい季節。この秋はテレビやゲームを少しお休みして、家族みんなで読書をしたり、読み聞かせをしたりする時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。